

平成17年12月 検定試験

【No.27】 電子制御式ATのセンサに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) ジェネレータ型の車速センサは、ギヤの凹凸面が通過することで磁力線が変化しコイルに交流電圧が発生する。
- (2) サーミスタを用いた油温センサは、基準電圧をAT・ECU内の抵抗と分圧することでオートマティック・トランスミッション・フルード温度変化に応じて電圧を変化させる。
- (3) 磁気抵抗素子(MRE)内蔵のハイブリッドICを使った車速センサは、ATのアウトプット・シャフトのドライブ・ギヤにより駆動されるコイルの磁力変化を検出する。
- (4) スロットル・ポジション・センサは、スロットル・バルブの開度位置を検出するもので、抵抗体に分布する電圧を可動接点により取り出している。